



2021年12月期 第1四半期決算短信(日本基準)(連結)

2021年4月28日

上場会社名 東亜合成株式会社

上場取引所 東

コード番号 4045 URL <https://www.toagosei.co.jp/>

代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 高村 美己志

問合せ先責任者 (役職名) コーポレートコミュニケーション部長 (氏名) 松田 明彦

TEL 03-3597-7215

四半期報告書提出予定日 2021年5月13日

配当支払開始予定日

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無

四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 2021年12月期第1四半期の連結業績(2021年1月1日～2021年3月31日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2021年12月期第1四半期	35,953	5.0	4,687	37.5	5,182	60.6	3,656	111.7
2020年12月期第1四半期	34,251	2.8	3,409	15.7	3,226	27.1	1,726	42.9

(注) 包括利益 2021年12月期第1四半期 7,086百万円 (%) 2020年12月期第1四半期 2,571百万円 (%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
2021年12月期第1四半期	28.54	
2020年12月期第1四半期	13.12	

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2021年12月期第1四半期	250,742	202,726	79.0
2020年12月期	241,832	197,642	79.8

(参考) 自己資本 2021年12月期第1四半期 197,973百万円 2020年12月期 192,885百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2020年12月期		15.00		15.00	30.00
2021年12月期					
2021年12月期(予想)		15.00		15.00	30.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 2021年12月期の連結業績予想(2021年1月1日～2021年12月31日)

(%表示は、通期は対前期、四半期は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
第2四半期(累計)	69,000	4.9	6,600	16.5	7,100	14.5	4,900	29.4	38.32
通期	143,000	7.2	14,000	13.5	14,800	13.4	10,400	27.7	81.99

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

注記事項

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 有
新規、除外 1社(社名)大分ケミカル株式会社
- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無
- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
以外の会計方針の変更 : 無
会計上の見積りの変更 : 無
修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

期末発行済株式数(自己株式を含む)	2021年12月期1Q	128,300,000 株	2020年12月期	128,300,000 株
期末自己株式数	2021年12月期1Q	196,725 株	2020年12月期	196,018 株
期中平均株式数(四半期累計)	2021年12月期1Q	128,103,590 株	2020年12月期1Q	131,624,473 株

四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

上記の業績予想には、本資料の発表日現在入手可能な情報に基づく予測が含まれております。実際の業績は、今後さまざまな変動要因により、上記数値と異なる可能性があります。上記業績予想に関する事項は、四半期決算短信(添付資料)3ページ「連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	8
(継続企業の前提に関する注記)	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	8
(セグメント情報等)	9

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

(ア) 当第1四半期連結累計期間の概況

当第1四半期連結累計期間（2021年1月1日から2021年3月31日まで）の経済状況は、新型コロナウイルス感染症（COVID-19）の世界的流行がおさまらず、経済活動の自粛により、非製造業においては厳しい状況でありましたが、製造業においては、電子デバイスの需要増を受けた半導体関連は比較的好調で、自動車関連は昨年後半から持ち直しております。

このような中、当社グループは徹底した感染防止対策を行いながら事業活動を継続し、回復してきた需要に的確に対応することで、売上高は359億5千3百万円（前年同期比5.0%増収）、営業利益は46億8千7百万円（前年同期比37.5%増益）、経常利益は51億8千2百万円（前年同期比60.6%増益）、親会社株主に帰属する四半期純利益は36億5千6百万円（前年同期比111.7%増益）となりました。

(イ) セグメント別の業績

①基幹化学品事業

電解製品は、カセイソーダ等の無機製品は一部顧客の需要は回復いたしました。販売数量減により減収となりました。アクリルモノマーは全般的に需要が回復し、海上輸送の混乱がありましたものの、その影響は軽微にとどまり、販売数量はシンガポール子会社も含め増加し増収となりました。工業用ガスは、顧客の稼働は回復傾向ではありますが、販売数量減により減収となりました。これらの結果、当セグメントの売上高は155億9千万円（前年同期比1.3%増収）となりました。

営業利益は、カセイソーダ等の無機製品は電力価格の値下がり等もあり増益、アクリルモノマーでは原燃料の値上がりがありました。販売数量増により、18億5千万円（前年同期比28.8%増益）となりました。

なお、当社は、2021年1月1日付けでアクリル酸等を製造する連結子会社であった大分ケミカル株式会社を吸収合併し大分工場といたしました。

②ポリマー・オリゴマー事業

アクリルポリマーは、リチウムイオン二次電池向けなどの自動車関連製品の販売数量増により増収となりました。アクリルオリゴマーは、ハードコート、自動車用塗料、電子材料用途向け販売が堅調に推移し増収となりました。高分子凝集剤は、製紙、鉄鋼、土木向け需要が低調でしたが、下水関係向けが販売数量増となり増収となりました。これらの結果、当セグメントの売上高は80億8千1百万円（前年同期比14.8%増収）となりました。

営業利益は、販売数量増により、13億4千8百万円（前年同期比46.7%増益）となりました。

なお、2021年3月31日に連結子会社であるMTアクアポリマー株式会社は、三菱ケミカル株式会社の高分子凝集剤の販売事業を会社分割により承継いたしました。

③接着材料事業

瞬間接着剤は、海外の家庭用の販売は前年並みの出荷で、工業用は需要回復により販売数量増となりました。国内販売も家庭用、工業用ともに出荷は堅調に推移し増収となりました。機能性接着剤は、各種電子機器関係や自動車関係向けが販売数量増となり増収となりました。これらの結果、当セグメントの売上高は27億7千8百万円（前年同期比13.0%増収）となりました。

営業利益は、研究開発費などの固定費の増加がありましたが、販売数量増により、3億4百万円（前年同期比95.5%増益）となりました。

④高機能無機材料事業

高純度無機化学品は、半導体向け需要が好調で液化塩化水素などの販売が底堅く推移し、無機機能材料は、消臭剤が販売数量減も電子部品向け材料と無機抗菌剤の販売数量増により増収となりました。これらの結果、当セグメントの売上高は22億4千3百万円（前年同期比2.3%増収）となりました。

営業利益は、減価償却費の増加がありましたが、販売数量増により、6億3千9百万円（前年同期比3.8%増益）となりました。

⑤樹脂加工製品事業

管工機材製品は、下水道などのインフラ工事が減少し販売数量減となり減収となりました。建材・土木製品は、販売数量増により増収となりました。ライフサポート製品は、コロナ禍による在宅介護機会の増加にともなう販売数量増により増収となりました。エラストマーコンパウンドは、海外需要の回復による販売数量増で増収とな

りました。これらの結果、当セグメントの売上高は63億8千2百万円（前年同期比2.7%増収）となりました。

営業利益は、ライフサポート製品やエラストマーコンパウンドの販売数量増により、5億6千2百万円（前年同期比132.8%増益）となりました。

⑥その他の事業

新規製品の研究開発事業、輸送事業、商社事業などにより構成される当セグメントは、売上高は8億7千8百万円（前年同期比8.0%減収）、営業損失は1千9百万円となりました。

(2) 財政状態に関する説明

資産、負債および純資産の状況

資産合計は「投資有価証券」および「受取手形及び売掛金」が増加しましたため、前連結会計年度末に比べ89億9百万円、3.7%増加し、2,507億4千2百万円となりました。

負債合計は、繰延税金負債の増加により固定負債の「その他」が増加しましたため、前連結会計年度末に比べ38億2千5百万円、8.7%増加し、480億1千6百万円となりました。

純資産合計は、「その他有価証券評価差額金」が増加しましたため、前連結会計年度末に比べ50億8千3百万円、2.6%増加し、2,027億2千6百万円となり、自己資本比率は79.0%となりました。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

文中の将来に関する事項は、本資料の発表日現在において、当社グループが判断したものです。

当第1四半期連結累計期間における世界の経済状況は、変異ウイルスも含めた新型コロナウイルス感染症の世界的大流行がおさまらず、グローバルな移動制限や医療崩壊を避けるための経済活動自粛により、世界の景気は依然として厳しい状況となっています。しかし、米国での消費持直しや、中国では景気が回復を示している中、ワクチン接種が進むことで、経済活動の回復期待は高まっており、原油やその他の資源価格も全般的に上昇基調となっております。

わが国においても、感染者数が急増しコロナ禍の終息が見えない状況が続いておりますが、ワクチン普及への期待とともに、同感染症の拡大防止対策を講じつつ、徐々に経済活動の正常化への動きが進むものと想定されます。

このような中、当社グループは、時差出勤や在宅勤務を推進し、安心、安全で健康に働ける環境を整備し、徹底した感染防止対策を行いながら事業活動を継続し、回復してきた需要に的確に対応してまいりました。

新型コロナウイルス感染症はもとより、米中覇権争いや二酸化炭素（CO₂）削減の動きも高まり、先行き不透明感がありますものの、製品の需給バランスや原材料を含めた価格動向に適切に対処するとともに、新規設備の稼働率を高め、着実に事業活動をすすめてまいります。

なお、現時点において、新型コロナウイルス感染症の影響を合理的に見積もることは困難であるため、2月12日に発表しました2021年通期の連結業績予想は据え置き、業績予想の変更が必要と判断された時点で速やかに開示いたします。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2020年12月31日)	当第1四半期連結会計期間 (2021年3月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	48,564	49,928
受取手形及び売掛金	39,757	41,158
有価証券	25,000	25,000
たな卸資産	17,094	17,079
その他	996	1,060
貸倒引当金	△36	△36
流動資産合計	131,376	134,190
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物（純額）	24,661	25,980
機械装置及び運搬具（純額）	25,919	26,688
土地	17,679	17,747
その他（純額）	10,041	8,955
有形固定資産合計	78,301	79,372
無形固定資産	783	1,620
投資その他の資産		
投資有価証券	26,844	31,028
退職給付に係る資産	2,441	2,510
その他	2,099	2,034
貸倒引当金	△14	△14
投資その他の資産合計	31,370	35,559
固定資産合計	110,456	116,552
資産合計	241,832	250,742

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2020年12月31日)	当第1四半期連結会計期間 (2021年3月31日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	12,130	13,375
短期借入金	6,903	6,893
未払法人税等	1,618	1,449
引当金	15	619
その他	12,670	13,451
流動負債合計	33,337	35,789
固定負債		
長期借入金	4,473	4,473
退職給付に係る負債	151	155
その他	6,228	7,598
固定負債合計	10,852	12,226
負債合計	44,190	48,016
純資産の部		
株主資本		
資本金	20,886	20,886
資本剰余金	15,046	15,046
利益剰余金	147,893	149,628
自己株式	△207	△208
株主資本合計	183,619	185,353
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	7,891	10,751
為替換算調整勘定	1,287	1,775
退職給付に係る調整累計額	86	92
その他の包括利益累計額合計	9,265	12,619
非支配株主持分	4,757	4,753
純資産合計	197,642	202,726
負債純資産合計	241,832	250,742

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

(四半期連結損益計算書)

(第1四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自2020年1月1日 至2020年3月31日)	当第1四半期連結累計期間 (自2021年1月1日 至2021年3月31日)
売上高	34,251	35,953
売上原価	24,399	24,814
売上総利益	9,851	11,138
販売費及び一般管理費	6,441	6,451
営業利益	3,409	4,687
営業外収益		
受取利息	22	8
受取配当金	67	167
持分法による投資利益	87	88
為替差益	—	202
固定資産賃貸料	81	77
その他	64	32
営業外収益合計	323	576
営業外費用		
支払利息	23	23
環境整備費	35	24
遊休設備費	9	6
為替差損	425	—
その他	14	27
営業外費用合計	507	81
経常利益	3,226	5,182
特別利益		
補助金収入	—	26
特別利益合計	—	26
特別損失		
固定資産処分損	138	26
投資有価証券評価損	407	—
特別損失合計	546	26
税金等調整前四半期純利益	2,679	5,181
法人税等	896	1,481
四半期純利益	1,783	3,700
非支配株主に帰属する四半期純利益	56	44
親会社株主に帰属する四半期純利益	1,726	3,656

(四半期連結包括利益計算書)

(第1四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自2020年1月1日 至2020年3月31日)	当第1四半期連結累計期間 (自2021年1月1日 至2021年3月31日)
四半期純利益	1,783	3,700
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△4,212	2,860
為替換算調整勘定	△152	520
退職給付に係る調整額	10	5
その他の包括利益合計	△4,354	3,386
四半期包括利益	△2,571	7,086
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	△2,614	7,010
非支配株主に係る四半期包括利益	42	76

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

I 前第1四半期連結累計期間(自 2020年1月1日 至 2020年3月31日)

1 報告セグメントごとの売上高および利益または損失の金額に関する情報

(単位：百万円)

	報告セグメント						その他 (注) 1	合計	調整額 (注) 2	四半期 連結損益 計算書 計上額 (注) 3
	基幹化学 品事業	ポリマー・ オリゴマー 事業	接着材料 事業	高機能 無機材料 事業	樹脂加工 製品事業	計				
売上高										
外部顧客への売上高	15,390	7,041	2,459	2,191	6,213	33,296	954	34,251	—	34,251
セグメント間の内部 売上高または振替高	848	293	20	12	2	1,178	372	1,551	△1,551	—
計	16,238	7,334	2,480	2,204	6,216	34,475	1,327	35,802	△1,551	34,251
セグメント利益	1,437	919	155	616	241	3,369	38	3,408	1	3,409

(注) 1 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、新規製品の研究開発事業、輸送事業、商社事業等を含んでおります。

2 セグメント利益の調整額は、主にセグメント間取引消去によるものです。

3 セグメント利益は四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2 報告セグメントごとの固定資産の減損損失またはのれん等に関する情報

該当事項はありません。

II 当第1四半期連結累計期間(自 2021年1月1日 至 2021年3月31日)

1 報告セグメントごとの売上高および利益または損失の金額に関する情報

(単位：百万円)

	報告セグメント						その他 (注) 1	合計	調整額 (注) 2	四半期 連結損益 計算書 計上額 (注) 3
	基幹化学 品事業	ポリマー・ オリゴマー 事業	接着材料 事業	高機能 無機材料 事業	樹脂加工 製品事業	計				
売上高										
外部顧客への売上高	15,590	8,081	2,778	2,243	6,382	35,075	878	35,953	—	35,953
セグメント間の内部 売上高または振替高	931	322	22	46	42	1,365	361	1,726	△1,726	—
計	16,521	8,404	2,800	2,289	6,425	36,440	1,239	37,680	△1,726	35,953
セグメント利益	1,850	1,348	304	639	562	4,706	△19	4,686	0	4,687

(注) 1 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、新規製品の研究開発事業、輸送事業、商社事業等を含んでおります。

2 セグメント利益の調整額は、主にセグメント間取引消去によるものです。

3 セグメント利益は四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2 報告セグメントごとの固定資産の減損損失またはのれん等に関する情報

重要性が乏しいため、記載を省略しております。